

生涯学習の窓

教育・文化・スポーツの
ホットな情報をお届けします。

■清流大学入学式

4月27日（木）に平成29年度清流大学の入学式が行われ、在校生31名に新入生2名を迎え、新年度をスタートさせました。

清流大学では公開講座を1年に2回ほど実施していますが、徐々に回数を増やしていきたいと考えています。住民の皆さんであれば誰でも参加できますので、清流大学の雰囲気が知りたい等、興味のある方はお気軽に教育委員会までお声かけください。



■村営プールがオープンします

6月24日（土）に村営中央プール・トマムプールのオープンを予定しています。

今年の夏は、平年より高い気温になる可能性が高いそうです。暑い夏を楽しく過ごすため、また、ちょっとした運動のため、プールを利用してみませんか？

毎日13時00分から17時00分まで開館していますので、ご利用ください。



■村民スポーツレクリエーション大会

7月2日（日）に村の一大イベントである村民スポーツレクリエーション大会が開催されます。

子どもからお年寄りまで参加できるような、みんなで楽しめる種目を今年も行います。昨年は残念ながら悪天候のため中止となってしまいましたが、昨年度の分も取り返せるくらい盛り上げていきますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

日時：平成29年7月2日（日）9時から12時30分まで（予定）

種目：ゴルフカート、超障害物競走（小学生対象）、新ぼくもわたしも（幼児対象）、ただいま断水中、紅白玉よけ、綱引き、世代間交流、村民リレー

■アンケートへのご協力をお願いします！

7月中に第7次占冠村社会教育中期計画策定に伴うアンケートを13歳以上の全村民を対象に実施する予定です。

村民の皆さんが生涯学習（社会教育）についてどのような考えを持っているかを調査し、占冠村らしい生涯学習事業を行うための資料とさせていただきますのでご協力をよろしくお願いします。

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

■お問い合わせ
林業振興室

電話 56-2174

エゾシカ

雄シカの角は4月から5月にかけて脱落し、6月になると、皮膚に覆われ血が通った袋角がぐんぐん伸び、9月から10月にかけて皮膚がとれて枯角が完成します。前々年生まれの雄（1本角）は落角が大人よりやや遅く、秋に仕上がる枝角が小ぶりです。前年生まれば角なしで、春からコブができ始め、秋には最初の1本角が仕上がります（図1）。

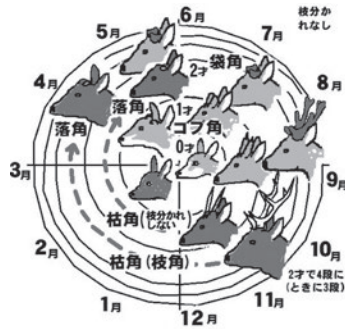


図1 鹿角カレンダー

4月は33頭を捕獲し駆除しました。一番草の新芽の時期に、特に捕獲に力を入れたところですが、昨年度の同時期よりやや減少しました。5月は幾分、上向くと予想されます。

ヒグマ

春は林内の見通しが良く、樹皮に残る痕跡を観察しやすい季節です。右写真は秋にヤマブドウを求めて木登りした爪跡です。このほかマーキングとしてかじったり体を擦りつけたりしたのなど様々です。



トドマツの爪痕

雪解け後、山林内にはシカの自然死骸がいくつもあり、冬眠明け後のヒグマが食した可能性のある痕跡も見ます。しかし、観察された糞の内容は草本や昨秋のドングリ、クルミが主で、シカはまだ見られていません。春のシカ死骸を食す割合はあまり多くないものと思われる。



かじられたハンノキ



越冬ドングリ

4月中旬から5月中旬にかけて、目撃3件のほか、糞や足跡の情報をいただいています。ほとんどが山林内であり、特に異常性や危険性を示唆するものではありません。

これから次第に山林内の見通しが悪くなり、山菜採りで遭害が懸念されます。音を発しながら行動する、ヒグマの新しい痕跡があったら引き返すなど、事故防止に心がけてください。

アライグマ

春の一斉捕獲をめざしていますが、5月中旬現在、残念ながら捕獲できていません。夏の農作物や家庭菜園、特にトウモロコシへの被害が懸念されますので、電気柵などの各自対策が必要です。

目撃、痕跡情報、防除のご相談については、林業振興室までお願いします。

こちら駐在所



です

■夏山の遭難防止

山登り 体力・技量を考えて

【山岳遭難防止ポイント】

- 登山は十分な装備とゆとりある計画を立て、自分の体力や技量にあった登山を心がけましょう。
- 登山計画書を作成し、家族や職場のほか最寄りの警察署や交番・駐在所にも提出しましょう。
- 経験のあるリーダーのもと、複数人での登山に努め、単独での登山は控えましょう。
- ヒグマとの遭遇を避けるため、音の出るものを持しましょう。
- 万が一のために、携帯電話などの通信手段を持しましょう。

■薬物乱用の防止

薬物、ダメ。ゼッタイ。

- 覚せい剤や大麻などの薬物を乱用すると、身体や精神がボロボロになり、人間らしい生活を営むことができなくなるばかりか、場合によっては死に至ります。
- 薬物の手はあなたの周りにも及び寄っており、一度だけという好奇心や遊びのつもりでも、強い依存性によって、自分の意思では止めることができなくなります。
- 道内には野生の大麻草が自生している地区が多くあり、関係機関と連携して自生大麻の除去活動を推進しています。大麻汚染の拡大を阻止するためにも、大麻草の群生地を知っている方は警察への通報をお願いします。

不法就労・不法滞在防止のためのご理解とご協力を

～忍び寄る犯罪組織の国際化 あなたの目が街を守る～
地域の安全を妨げる国際犯罪組織の暗躍を防止するためには、警察や関係機関のみならず、皆様のご協力が欠かせません。

どんなにささいなことでもかまいません。「おかしいな？」と思ったら、警察に通報してください。

占冠駐在所
56-2110